

ラグーワイン



ラグーマンが栽培し
ラグーマンが醸造し
ラグーマンがお届けします。



オリジナルラベルの
ラグーワインをお作りします



入学・卒業記念
納会の記念などに
ラベルデザインは持ち込みも対応し
ます（ラベル制作は価格応相談）
オリジナルラベルワイン
制作の詳細はこちら
をご覧ください。



<http://ruggerwine.com/orilabe/>



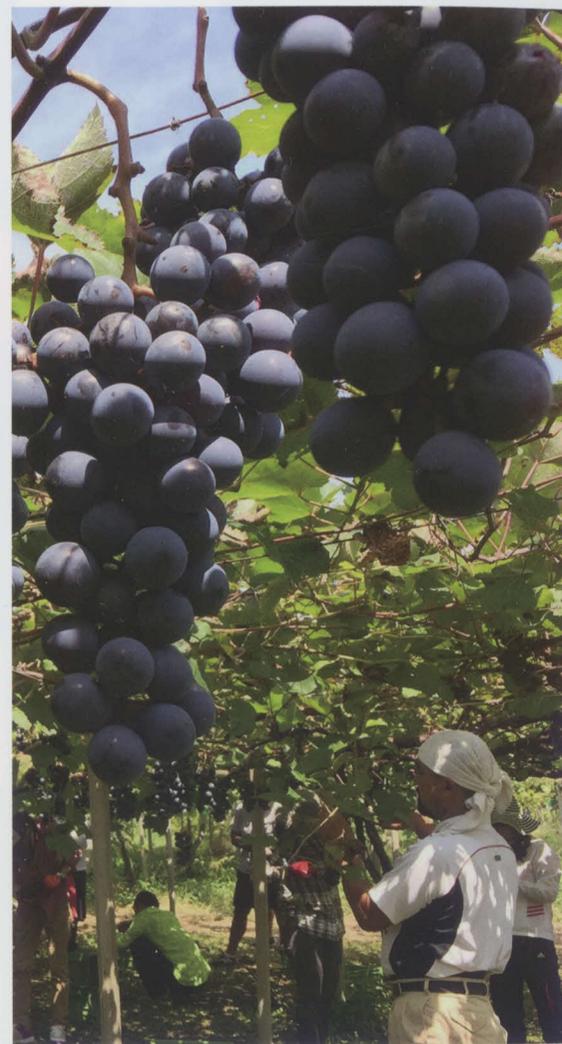
ラベル作成：ラグーワイン株式会社
ワイン販売：東農洋酒株式会社

〒405-0024山梨県山梨市歌田66
TEL 0553-22-5681
FAX 0553-22-7997
Mail sunriver@fruits.jp

故郷、そして ラグビーへの恩返し

All for one One for all

2014年(平成26年)2月14日から降り出した雪は、山梨県内での観測史上で一番の降雪を記録した。ぶどう・桃の産地として名高い峡東地方(山梨市・笛吹市・甲州市)ではぶどうのハウスが倒壊するなどハウスの再興はおろか、倒壊したハウス資材の撤去すらままならない状況に陥った。そんな時ハウスの撤去作業を手助けした地元ラグビークラブのメンバーは、高齢者が今後の農業継続を懸念する声を耳にし「自分たちにも何かできないか?ラグビーを通して農業への手助け、果樹地帯の景観維持の手助けが出来ないか?」とラグビー仲間を持ちかけた。これこそ「オール フォー ワン・ワン フォー オール」のラグビー精神そのものと「形にしていけることはないか」と動き出したのが



ラガーワインのはじまり。

峡東地方は生食用ぶどうの一大生産地。この地でぶどう栽培を営むラグビー仲間に、この話をもちかけたところ「使わせてもらえる畑があったとしても、一定の品質・形を整える生食用ぶどうを素人が栽培できるようなのは並大抵のことではない、生食用よりは手間のかからないワイン用原料ぶどうを栽培し、そのぶどうを醸造しオリジナルワインとしての販売に繋げてみてはどうだろうか」とアドバイスをもらった。ラガーワイン初の醸出しは2015年、この年はラグビーファンなら忘れることのできない特別な年。9月にイングランドで行われたワールドカップで日本は当時ランキング3位の南アフリカに34対32で歴史的な勝利を飾った。そして2019年にはこの興奮が日本にやってくる。世界各国から日本を訪れるラグビーファンに日本の「ラガーマン」が栽培し、ラガーマンが醸造した、ラガーワインを飲んでもらいたい」と夢はどんどん大きく膨らんでいった。



もう一つのミッション それはラグビーへの恩返し

「ラグビーは少年をいち早く大人にし、大人に永遠の少年の魂を抱かせる」これはラグビー・フランス代表元主将、ジャン・ピエール・リーブの言葉であるが、私たちはただワインを販売するだけでなく、自分達がラグビーから教わったラグビーの精神を次世代に繋ぐ担い手でもあると自負しています。いずれば、都心から100キロの距離でありながら、自然に囲まれた山梨の地で、子供達にラグビーを楽しくやらせながら、普段接することの少ない農業体験も絡め少年・少女の成長を見守っていきたいと思っています。



ハウスの撤去作業



2014年の大雪

